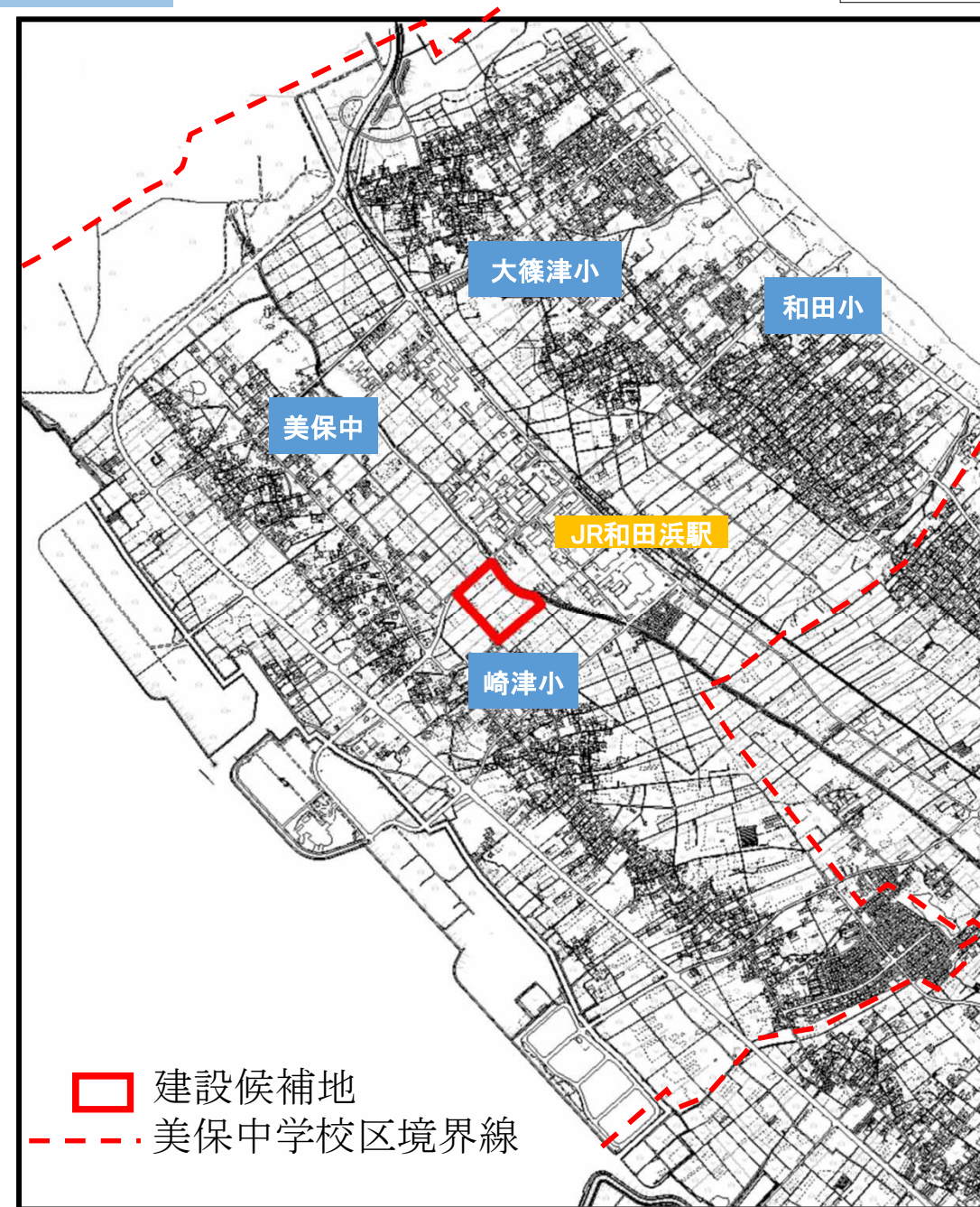


敷地所在地：米子市大崎 3 2 5 5 番地 1 外
敷地面積：45,963.88 m^2



美保中学校区義務教育学校【施設配置図(ゾーニング図)】

(1) 施設一体化型の校舎配置

学校棟・こども園棟・交流棟を一体化させハード面で児童生徒、園児、教職員及び地域住民の日常的な交流の支援を行う。(※各棟は別システム管理が可能。)

(2) 交流棟

児童生徒、園児、教職員及び地域住民の日常的な交流・連携を促すために、校舎と園舎の間に交流棟を配置。交流棟には、なかよし学級、地域交流室、多目的ホール、調理室等を配置し、地域開放を想定。また、送迎時の利便性・安全性を考え、なかよし学級玄関(交流棟玄関)と認定こども園玄関を近くに配置。

(3) 登下校の安全

車両は基本的に県道和崎かけはし通りを入りとする。一方、児童生徒は敷地内通学路や米川沿いの自転車・歩行者専用道路、県道側の歩道を通行することで、可能な限り敷地内での歩車分離を行う。

→ 車両用出入口

→ 歩行者動線

(4) 自然環境への配慮

北西風(県道側から吹く風)を建物で防ぎ、校庭や園庭を守ることができる施設配置。

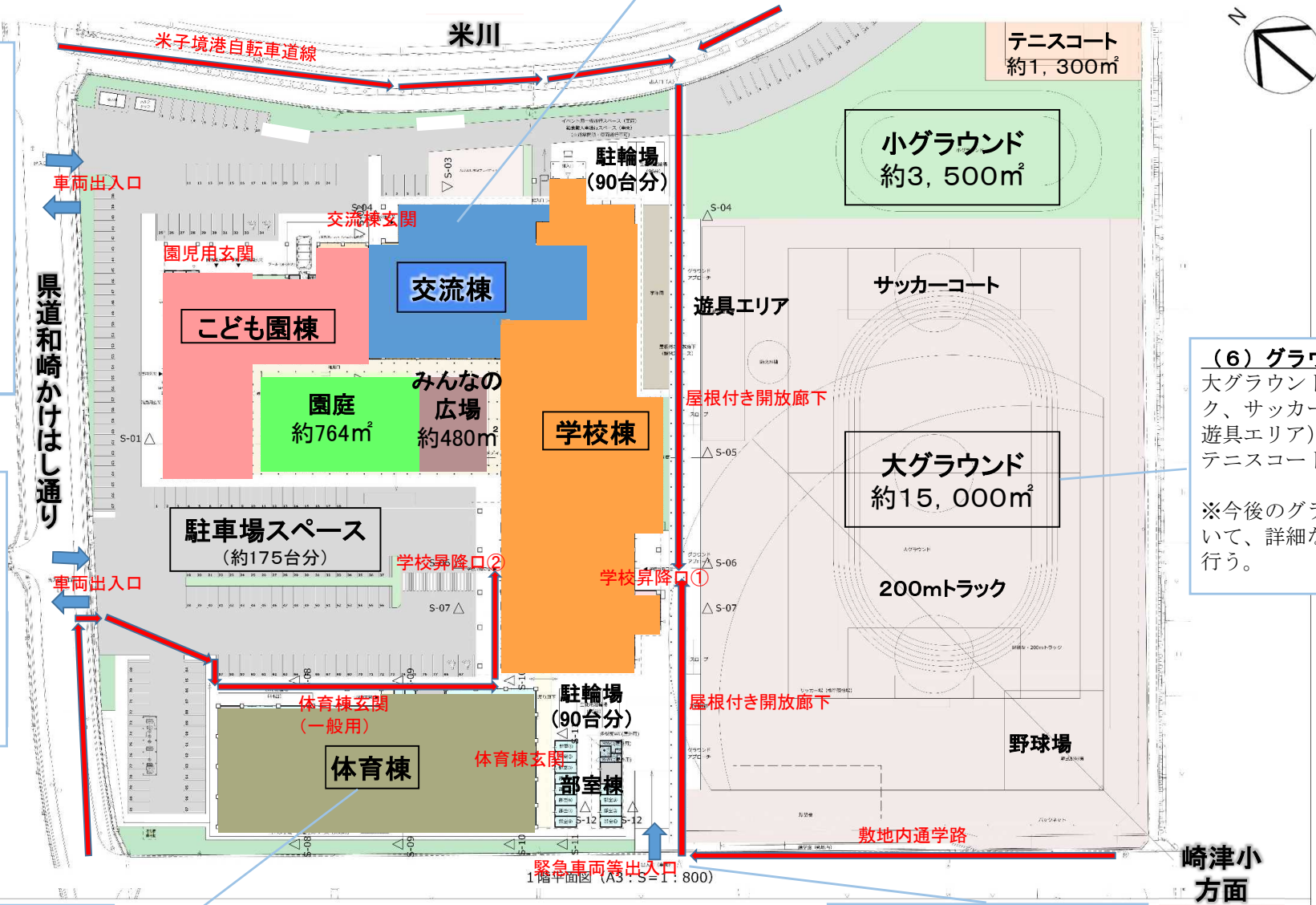
日当たりを考え、学校棟の普通教室とこども園棟の保育室は南側(グラウンド側、園庭側)へ配置。

(5) 体育棟

一般利用のアクセスも考慮し、駐車場の近くに配置。また、体育棟内にアリーナと武道場を集約。体育棟は地域開放を行う。

(7) 緊急車両等出入口

緊急車両進入時等に利用する車両出入口を設置。



(6) グラウンドエリア
大グラウンド(200mトラック、サッカーコート、野球場、遊具エリア)、小グラウンド、テニスコートを配置予定。
※今後のグラウンド設計時において、詳細な配置等の検討を行う。

美保中学校区義務教育学校【こども園棟 平面図】

（１）全体的な教室配置
1歳児から5歳児までの定員90名での受入れを想定しており、3歳以上児エリアと3歳未満児エリアに分け、年齢に応じて安全に安心して遊ぶことができる空間を確保。

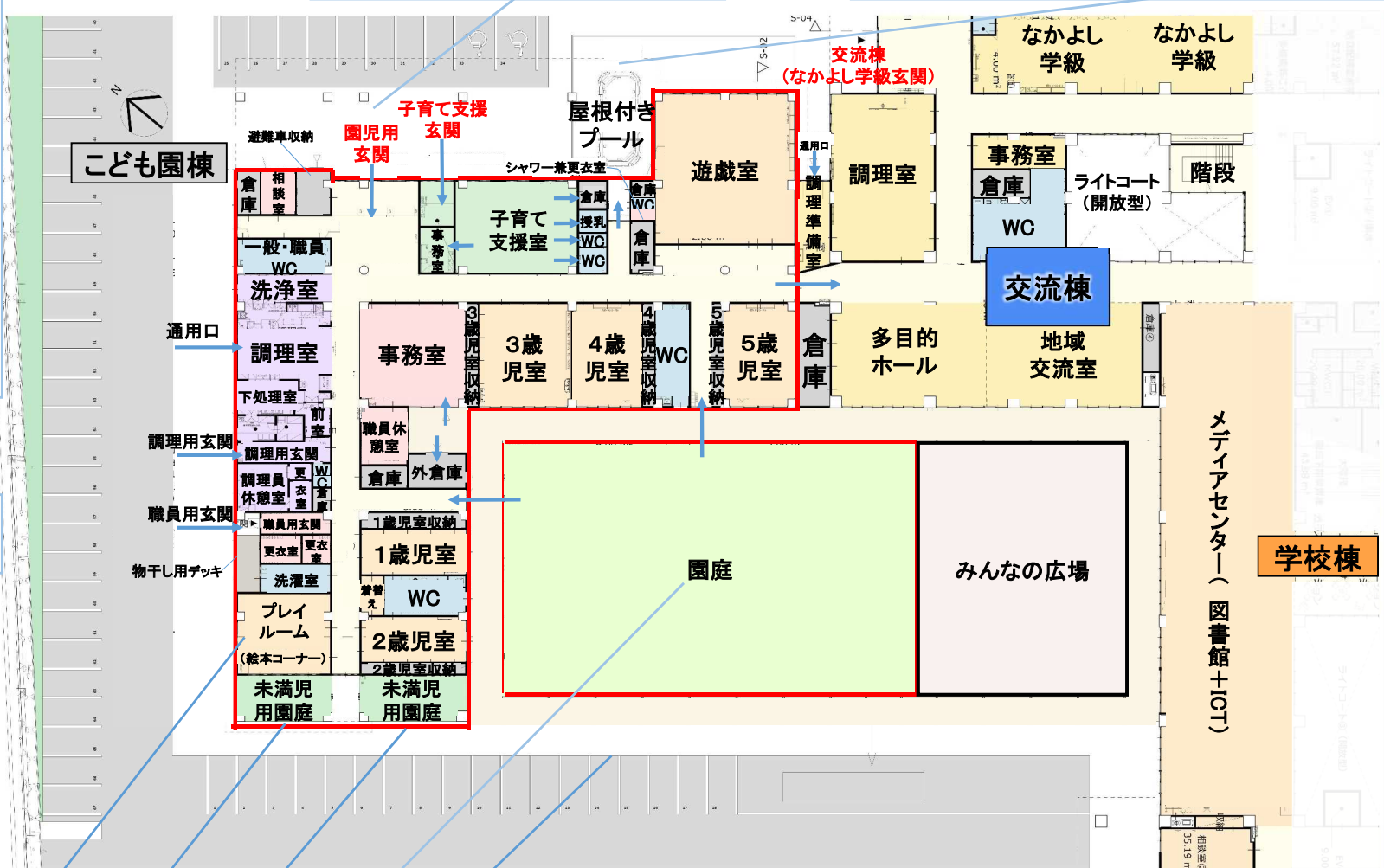
3歳以上児のクラスについては、義務教育学校と連携・交流がしやすいよう、年齢の高い順に校舎側に配置。また、園庭は学校の様子を見ることができる位置に配置し、みんなの広場とも接続させ、ハード面からも幼保小連携をサポート。

（４）空調
全館に空調を整備。

（５）安心・安全な保育環境
保育室や遊戯室とは別に、3歳未満児も安心して遊ぶことができるプレイルーム（絵本コーナー）を設置。また、3歳未満児用の園庭をメインの園庭とは別に設ける。駐車スペースと園庭の間はフェンスで仕切り、安全を確保。

（２）保護者の利用しやすい配置
保護者が送迎や相談時に利用しやすいよう、駐車場と直結するように玄関の底を設置し、玄関近くには事務室、子育て支援室、相談室を配置。

（３）プール
暑さ対策のため、屋根付きとし、待機場所や更衣場所としての利用が可能な遊戯室の横に設置。また、周囲はフェンスで囲い、外部からは見えないように配慮。



美保中学校区義務教育学校【施設外観】

